

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第6学年	
教科等名	国語	グループ名	重度・重複学級（あか）	
ねらい	(1)日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。 (2)言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。 (3)言葉で伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしていその能力の向上を図る態度を養う。			
担当教員	○柴垣卓正 西野弘純			
年間授業時数	70 単位時間			
使用教科書	「五味太郎・言葉図鑑① うごきのことば」偕成社 「子どもがしあげる手づくり絵本 あいうえおあそび（上）ひらがな 50 音」太郎次郎社			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	お話を楽しもう①	16	○昔話や神話・伝承など ○言葉の響きやリズム ◆登場人物や場面の展開が分かる。 ◆昔話の世界や、擬音語・擬態語を楽しみ、自発的に活動に参加することができる。 □繰り返しがあったり、結末が理解しやすかったりする物語を題材にする。 □登場人物や場面の展開が理解しやすい昔話を選ぶ。	
6 7	文字遊びをしよう①	12	○身近な事物や動作の名称 ○平仮名カードの組み合わせ ◆平仮名のマッチングができる。 ◆イラストや写真等の身近な平仮名に注目したり、教員と一緒に発声したりすることができる。 ◆身近な物の名称や動作などの平仮名に関心をもち、主体的に活動に取り組むことができる。 □物と名称を結びつけるため、絵と文字を対にして提示する。 □ルールが理解しやすいように、絵カードなどでルールを確認する。	
9	お話を楽しもう②	6	○絵本の読み聞かせ ○簡単な動作や台詞を用いた絵本の印象的な場面の再現 ◆場面ごとの登場人物の表情や動作が分かる。 ◆絵本の世界を楽しみ、自発的に活動に参加することができる。 □パネルシアターや絵本は、身近な絵が描かれているものを使用する。 □繰り返しの台詞や児童に身近な物が出てくる話を選ぶ。	

10 11	身近な言葉 を知ろう	12	<p>○平仮名で書かれた身近な単語や友達の名前</p> <p>○単語作り</p> <p>◆文字と音を一致させることができる。</p> <p>◆平仮名カードで単語のマッチングをしたり、単語を作ったりすることができる。</p> <p>◆身近な物の名称や、自分や友達の名前、予定表、絵本などに出てくる平仮名に関心をもち、主体的に読んだり、書いたりすることができる。</p> <p>□物と名称を結びつけるため、絵と文字を対にして提示する。</p> <p>□おもちゃのマイク等を使用し、発声を促す。</p>
12 1	お話を楽し もう③	12	<p>○劇遊び</p> <p>◆登場人物や場面の展開が分かる。</p> <p>◆登場人物や場面の变化に気づき、それに合わせた道具や動作を選択することができる。</p> <p>◆2人以上で台詞のやりとりをすることができる。</p> <p>□児童の実態に合わせて、台詞カードや場面カードなどを使用する。</p> <p>□児童がストーリーに合わせて道具を操作できるようにする。</p>
2 3	文字遊びを しよう②	12	<p>○身近な事物や動作の名称</p> <p>○単語作り</p> <p>◆平仮名を読んだり、マッチングしたりすることができる。</p> <p>◆役割を理解し、ゲームに取り組むことができる。</p> <p>◆身近な物の名称や動作などの平仮名に関心をもち、主体的に活動に取り組むことができる。</p> <p>□物と名称を結びつけるため、絵と文字を対にして提示する。</p> <p>□ルールが理解できるように、絵カードなどでルールを確認する。</p>

学 部	小学部	学 年	第6学年	
教科等名	算数	グループ名	重度・重複学級（あか）	
ねらい	(1) 数や具体物に興味・関心をもち、数量を数ええるなど、数の処理に関する基礎的な技能を身に付ける。 (2) 身の回りの事象の形・量について、簡単な言葉を用いて表現する力を養う。 (3) 算数で学んだことと具体物の関係に気付き、そのことを生活に活用しようとする態度を養う。			
担当教員	○柴垣卓正 西野弘純			
年間授業時数	70 単位時間			
使用教科書	「ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」①(量概念の基礎、比較、なかま集め)」同成社			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	身近な数	14	<input type="radio"/> 10までの数字の理解 <input checked="" type="checkbox"/> 10までの数を数唱したり、順番に並べたりすることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 数字を読んで、対応した数の具体物やカード等を取ったり、貼ったりすることができる。 <input type="checkbox"/> 児童にとって身近なものを用いて数えるようにする。	
6 7 9	身近な図形	20	<input type="radio"/> 具体物を用いた形の構成 <input checked="" type="checkbox"/> 形遊びや形作りを通して、身の回りにある立体図形に親しむ。 <input checked="" type="checkbox"/> 丸、三角、四角などの形を組み合わせて、見本と同じ形を作ることができる。 <input type="checkbox"/> 大型積木などを使い、身体全体で形の特徴を捉えられるようにする。 <input type="checkbox"/> 児童の実態に合わせて、形の見本カードや具体物の見本などを提示する。	
10 11 12	身近な数量	20	<input type="radio"/> 10までの数量の理解 <input checked="" type="checkbox"/> 10までの数字と数量を一致することができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 10までの数字カードをもとに、個数ごとに分ける。 <input type="checkbox"/> 具体物を操作することで、体験的に数の理解を深められるようにする。	
1 2 3	身近な量	16	<input type="radio"/> 具体物を用いての多少の比較 <input checked="" type="checkbox"/> 身近にあるものの量に関心をもち、具体物を使って比べることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 「多い」「少ない」などの比較の言葉を知り、日常生活の中で使うことができる。 <input type="checkbox"/> 具体物を用いて比べられるようにする。 <input type="checkbox"/> 絵や写真とともに比較の言葉を伝え、慣れるようにする。	

学 部	小学部	学 年	第6学年
教科等名	音楽	グループ名	第6学年
ねらい	<p>(1) 曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 音楽表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味をもつとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。</p>		
担当教員	○荒井理佳 ○国吉美友紀 谷口学人 村山亜美 柴垣卓正 西野弘純 森谷芳穂 港月乃 野中裕樹		
年間授業時数	35 単位時間		
使用教科書	「うたえほんⅢ」 グランまま社		
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫 備考
4 5 6 7 9	色々な曲の 変化を楽し んで演奏し よう	14	<p>○歌唱 「茶摘み」「手のひらを太陽に」「てとてととと」</p> <p>◆曲の速さや強弱、発音に気を付け、歌詞や曲の雰囲気を感じながら、伴奏に合わせて歌う。</p> <p>□歌詞に合わせてハンドサインをつけ、児童の実態に合わせて表現できるようにする。</p> <p>○器楽 「ドレミで弾こう」「かえるのがっしょう」</p> <p>◆打楽器や旋律楽器を、それぞれの楽器の音色を意識しながら、簡単な楽譜を見て、伴奏に合わせて演奏する。</p> <p>&lt;使用楽器&gt;キーボード、木琴、ベルハーモニーなど</p> <p>□音色や強弱、リズムの違い、楽器の役割を感じながら音を鳴らす。児童の実態に合わせて演奏の方法を工夫する。</p> <p>○音楽づくり 「いろいろリズム」「音あてクイズ」</p> <p>◆楽器を演奏しながら曲の一部を作り、音を選んだりつなげたりして曲を完成させ、みんなで演奏する。</p> <p>□音を選んだり、つなげたりする面白さに気付けるように簡単なリズム・パターンの曲を選ぶ。</p> <p>○身体表現 「リトミック」「ドラムサークル」</p> <p>◆ピアノの音を聴きながら、教員の動きを模倣したり、リズムを感じ取ったりして身体表現する。</p> <p>□ペアや輪になり、友達と一緒に表現することができるようにする。</p> <p>○鑑賞 「クシコスポスト」「たなばたさま」</p> <p>◆演奏楽器の音色や演奏方法の違いに注目して見たり、聴いたりしながら、曲の雰囲気を楽しむ。</p> <p>□リズムや速度、旋律、季節など親しみやすい曲を選曲する。</p>

<p>10 11 12</p>	<p>テンポやリズムを意識して表現しよう</p>	<p>12</p>	<p>○歌唱「世界がひとつになるまで」「夕やけこやけ」「ホ！ホ！ホ！」</p> <p>◆曲の速さや強弱、発音に気を付け、歌詞や曲の雰囲気を感じながら、伴奏や友達に合わせて歌う。</p> <p>□歌詞に合わせたハンドサインをつけ、児童の実態に合わせて表現できるようにする。</p> <p>○器楽「村まつり」「オーバーザレインボウ」</p> <p>◆打楽器や旋律楽器を、それぞれの楽器の音色を意識しながら、簡単な楽譜を見て、伴奏や友達に合わせて演奏する。</p> <p>&lt;使用楽器&gt;キーボード、ベルハーモニー、和太鼓など</p> <p>□音色や強弱、リズムの違い、楽器の役割を感じながら音を鳴らす。児童の実態に合わせて演奏の方法を工夫する。</p> <p>□日本の伝統楽器について知り、興味をもって見たり、聴いたりできるようにする。</p> <p>○音楽づくり「リズムでGo!」「音あてクイズ」</p> <p>◆音符を組み合わせながら曲の一部を作り、音を選んだり、つなげたりして曲を完成させ、みんなで演奏する。</p> <p>□音を選んだり、つなげたりする面白さに気付けるように、音符や音の視覚的教材を活用する。</p> <p>○身体表現「羽ばたき祭の演目のダンス」「ドラムサークル」</p> <p>◆曲に合わせて拍やリズムを感じながら、教員や友達と一緒に楽しく身体を動かす。</p> <p>□児童が覚え、楽しく踊ることができる振り付けなど、表現方法を工夫する。</p> <p>○鑑賞「そりすべり」「シンコペイテッドクロック」</p> <p>◆鑑賞についての知識を得たり、活かしたりしながら、身近な人の演奏を聴いたり、身体で表現しながら楽しく聴く。</p> <p>□楽しみながら聴くことができるよう、生演奏や視聴覚機器などを工夫する。</p>	
<p>1 2 3</p>	<p>曲の雰囲気を感じて心を込めて表現しよう</p>	<p>9</p>	<p>○歌唱「君が代」「校歌」「卒業のうた」</p> <p>◆卒業式に向けて、曲の歌詞や曲の雰囲気を感じて心を込めて歌う。</p> <p>□歌詞の意味を伝え、卒業をイメージして心を込めて歌えるようにする。</p> <p>○器楽「よろこびの歌」「ジャンプどん」</p> <p>◆打楽器や旋律楽器を、それぞれの楽器の音色を意識しながら、伴奏や友達に合わせて、指揮者を見て演奏する。</p> <p>&lt;使用楽器&gt;キーボード、ベルハーモニー、和太鼓など</p> <p>□伴奏や友達の音を聴きながら、指揮者に注目できるようにする。児童の実態に合わせて演奏の方法を工夫する。</p> <p>○音楽づくり「たべたいものなあに？」</p> <p>◆音符を組み合わせながら曲の一部を作り、音を選んだりつなげたりして曲を完成させ、みんなで演奏する。</p> <p>□音を選んだりつなげたりする面白さに気付けるように、音符や音の視覚的教材を活用する。</p> <p>○身体表現「リトミック」「ドラムサークル」</p> <p>◆ピアノの音を聴きながら、教員の動きを模倣したり、リズムを感じ取ったりして、友達と一緒に身体表現する。</p> <p>□ペアや輪になり、友達と一緒に表現することができるようにする。</p> <p>○鑑賞「さくらさくら」</p> <p>◆鑑賞についての知識を得たり、活かしたりしながら、身近な人の演奏を聴いたり、身体で表現したりして楽しく聴く。</p> <p>□楽しみながら聴くことができるよう、生演奏や視聴覚機器などを工夫する。</p>	

学 部	小学部	学 年	第 6 学年	
教科等名	図画工作	グループ名	第 6 学年	
ねらい	<p>(1) 形や色などの造形的な視点に気が付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 進んで表現や鑑賞に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。</p>			
担当教員	○森谷芳穂 ○国吉美友紀 ○西野弘純 谷口学人 村山亜美 柴垣卓正 港月乃 野中裕樹 荒井理佳			
年間授業時数	70 単位時間			
使用教科書	「あそびの絵本 23 えかきあそび」岩崎書店			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	ちぎり絵や 貼り絵をしよう	6	<p>○アメリカ合衆国、チェコ共和国、赤道ギニア共和国、インド、パラオ共和国等の国旗の配色をもとに旗を作る</p> <p>○ちぎる、貼る、塗る等して作品を作る</p> <p>◆絵の具やペンを使って、国旗を描くことができる。</p> <p>◆スクラッチや吹き流し、はじき絵などの技法を使って制作に取り組むことができる。</p> <p>□いろいろな国や国旗があることに興味をもち、作品作りを楽しめるように、国旗のイラストや写真を提示する。</p> <p>□「消防写生会」や「体育授業発表会」のイメージをもって制作に取り組めるよう、昨年度までの写真を提示する。</p>	
6 7	染めよう	14	<p>○紙を染める活動に取り組み、色の変化を楽しむ。（折り染め、マーブリング）</p> <p>○色の組み合わせに関心をもち、自分の好きな色や素材を選んで制作することができる</p> <p>◆色やにじみ、模様の変化に関心をもち、工夫しながら活動に取り組むことができる。</p> <p>◆完成図をイメージし、色の付け方や紙の折り方を考えて制作することができる。</p> <p>□色や模様の変化に気が付きやすいような用具の準備や作業のポイントの提示をする。</p> <p>□完成品の例を示し、出来上がりの見通しがもてるようにする。</p>	
9	コラージュ をしよう	10	<p>○好きな動物や乗り物、風景等の有形のもの、自由にイメージした無形のものなど、表現したいものに合わせて紙を切り貼りした作品制作</p> <p>○広告の写真や雑誌、絵本の切り抜き、様々な感触の素材などを使ったコラージュ</p> <p>◆身近な物や風景の形や色、特徴に気が付き、自発的に活動に取り組むことができる。</p> <p>◆自分の表現したいことに合わせて構図を考え、素材を選んだり、加工したりすることができる。</p>	

			<p>◆色の重なりや素材の重なりを工夫して制作することができる。</p> <p>□デジタルカメラ、タブレット端末など、児童の実態に応じて使用する機材を選択する。</p> <p>□児童の実態に応じてものの特徴に気付けるような言葉掛けをしたり、素材を貼りつけるための下絵を用意したりする。</p>	
10	粘土で作ろう	10	<p>○自分が表現したいことに応じて形を変化させることができる</p> <p>◆イメージをもって制作に取り組み、それに合わせて素材を加工することができる。</p> <p>◆素材の感触を楽しみながら、主体的に制作に取り組むことができる。</p> <p>□これまで扱ってきた種類の粘土とは質感や扱い方が異なる素材も使用する。</p> <p>□色や形の変化に気付けるような課題設定や言葉掛けをする。</p>	
11 12	スチレン版画をしよう	12	<p>○版画の仕組みを理解し、版を写し取って色が付くことに気付いて楽しむ</p> <p>○複数の色のインクを使って、版画を刷る</p> <p>◆彫った線や形は紙に写し取ることができることが分かり、完成のイメージをもって版の制作に取り組むことができる。</p> <p>◆ローラーやばれんの使い方が分かり、目的に応じて使うことができる。</p> <p>□完成品の例を示し、出来上がりの見通しがもてるようにする。</p> <p>□道具の使い方が分かるような視覚提示をする。</p>	
1 2	季節を感じよう	12	<p>○季節の雰囲気が感じられる壁面作品や立体作品</p> <p>○墨汁や絵の具などの画材、スタンプやフロッタージュなどの技法を使った作品制作</p> <p>○のこぎりを使った木材の加工</p> <p>○枝葉や石などの自然物を使った制作</p> <p>◆季節感や素材の感触、色、形の違いに関心を向けながら、制作に取り組むことができる。</p> <p>◆素材ごとの加工の仕方を理解し、適切な道具を選択して、活用することができる。</p> <p>□季節のイメージをもって活動ができるよう、行事や食べ物、風景のイラストや写真を示す。</p> <p>□道具の使い方だけでなく、注意点も提示し、自立的安全に作業ができるようにする。</p>	
3	アルバムを作ろう	6	<p>○学校で好きなものや場所、風景等を撮った写真を基に、作るコラージュや額縁の制作</p> <p>◆表現したいことに合わせて構図を考え、素材を加工したり、道具を使ったりすることができる。</p> <p>◆色の重なりや素材の加工の仕方を工夫して制作することができる。</p> <p>□年間を通してどのような作品を制作したかを振り返りながら、活動ができるような視覚提示をする。</p> <p>□身近な物の色や形に注目できるような言葉掛けをする。</p>	

学 部	小学部	学 年	第 6 学年	
教科等名	体育	グループ名	第 6 学年	
ねらい	<p>(1) 基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けるとともに、健康や身体の変化について知り、健康な生活ができるようになる。</p> <p>(2) 基本的な運動の楽しみ方や健康な生活の仕方について工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとするとともに自分から健康に必要な事柄をしようとする態度を養う。</p>			
担当教員	○谷口学人 ○村山亜美 柴垣卓正 西野弘純 森谷芳穂 港月乃 野中裕樹 国吉美友紀 荒井理佳			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	「かこさとしからだの本 2 たべもののたび」童心社			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	体育発表会 をしよう	5	<input type="checkbox"/> 集団行動「集合」「整列」等 <input checked="" type="checkbox"/> 全体の指示や、笛の合図で集団行動がとれる。 <input type="checkbox"/> 徒競走「歩く・走る」 <input checked="" type="checkbox"/> 競走意識をもってゴールまで走ることができる。 <input type="checkbox"/> 大玉転がし <input checked="" type="checkbox"/> 友達と協力して大玉を転がすことができる。 <input type="checkbox"/> 身体表現 <input checked="" type="checkbox"/> 動きを覚え、身体を大きく使って表現する。 <input type="checkbox"/> 笛のリズムや音量、長さを工夫して動きやすいようにする。 <input type="checkbox"/> ゴールテープ等で視覚的にゴールが分かるようにする。	
6 7	自分の身体 のを知ろう	6	<input type="checkbox"/> スポーツテスト <input checked="" type="checkbox"/> 自分の体力や運動能力を伸ばすことに興味をもって取り組むことができる。 <input type="checkbox"/> 測定された数値を大きく見やすく示し、意識を高める。	
9	水泳をしよう	8	<input type="checkbox"/> 水泳（水慣れ・顔つけ・バブリング・ボビング・バタ足・かえる足等） <input type="checkbox"/> 水中ゲーム（輪くぐり・宝探しなど） <input checked="" type="checkbox"/> ビート板やヘルパーを利用して、ばた足やかえる足で泳ぐことができる。 <input type="checkbox"/> プールでは水底板を使用し、安心して活動ができるようにする。	
10 11 12	器械・器具 を使って運動しよう	10	<input type="checkbox"/> 固定施設を使った基本的な運動（平均台） <input checked="" type="checkbox"/> 平均台などで、後ろ歩きや片足立ちができる。 <input type="checkbox"/> 器具を使った基本的な運動（マット⇒連続横転・前転など）（鉄棒⇒ぶら下がり・前回り下りなど）（跳び箱⇒跳び乗り・跳び下りなど） <input checked="" type="checkbox"/> 発展的な回転（後ろ転がり、連続前転など）ができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 身体を支持した状態から体を前後に振ったり、前回り降りをしたりすることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ロイター板を両足で踏み切って、跳び乗りや跳び越しがで	



			きる。 <input type="checkbox"/> 手や足を着く位置に印を付ける。 <input type="checkbox"/> 児童にあった大きさの器具を使用する。	
1 2 3	ボール運動	6	<input type="radio"/> 投げる・転がす・捕る・蹴る運動 <input type="radio"/> キックベース ◆友達同士でキャッチボールができる。 ◆教員や友達に向かってパスをしたり、教員や友達からのパスを受けたりすることができる。 ◆転がってきたボールを蹴ったり、捕ったり、止めたりすることができる。 ◆得点を狙い、ボールを蹴ったり投げたりすることができる。 <input type="checkbox"/> 柔らかく捕りやすいボールを使用する。 <input type="checkbox"/> 立つ位置を丸マットで分かり易く示す。 <input type="checkbox"/> 蹴る前にボールが転がらないように固定する。 <input type="checkbox"/> チームごとに色分けしたゼッケンを着用し、チームの友達を意識できるようにする。	

学 部	小学部	学 年	第 6 学年	
教科等名	体育（朝の運動）	グループ名	重度・重複学級	
ねらい	<p>(1) 教員の支援を受けながら、楽しく基本的な運動ができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。</p> <p>(2) 基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現できるようにするとともに、健康な生活に向け、感じたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく運動をしようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。</p>			
担当教員	○柴垣卓正 西野弘純			
年間授業時数	70 単位時間			
使用教科書	「かこさとしからだの本 2 たべもののたび」童心社			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	体育発表会 をしよう	11	<input type="checkbox"/> 集団行動「集合」「整列」等 <input checked="" type="checkbox"/> 教員の支援で集団行動がとれる。 <input type="checkbox"/> 徒競走「歩く・走る」 <input checked="" type="checkbox"/> ゴールまで走ることができる。 <input type="checkbox"/> 大玉転がし <input checked="" type="checkbox"/> 教員の言葉掛けを受けて大玉を転がすことができる。 <input type="checkbox"/> 身体表現 <input checked="" type="checkbox"/> 全体の見本を見ながら模倣して身体を動かす。 <input type="checkbox"/> 笛のリズムや音量、長さを工夫して動きやすいようにする。 <input type="checkbox"/> ゴールテープ等で視覚的にゴールが分かるようにする。	
6 7	自分の身体 のを知ろう	5	<input type="checkbox"/> スポーツテスト <input checked="" type="checkbox"/> 自分の体力や運動能力に興味をもって取り組むことができる。 <input type="checkbox"/> 測定された数値を大きく見やすく示し、意識を高める。	
9	継続して走 ろう①	12	<input type="checkbox"/> 周回走 <input checked="" type="checkbox"/> 一定時間止まらずに走る・歩くことができる。 <input type="checkbox"/> ラインを引いたり、ミニコーンを置いたりして、走るコースを示す。 <input type="checkbox"/> 教員と一緒に走り、ペースを示すようにする。	
10 11 12	継続して走 ろう②	20	<input type="checkbox"/> 10 分間走 <input checked="" type="checkbox"/> ペースを保って走り続けることができる。 <input type="checkbox"/> ラインを引いたり、ミニコーンを置いたりして、走るコースを示す。 <input type="checkbox"/> 教員と一緒に走り、ペースを示すようにする。	
1 2 3	継続して走 ろう③	22	<input type="checkbox"/> 10 分間走（グラウンド外周） <input checked="" type="checkbox"/> 速いペースで走り続けることができる。 <input type="checkbox"/> ラインを引いたり、ミニコーンを置いたりして、走るコースを示す。 <input type="checkbox"/> 教員と一緒に走り、ペースを示すようにする。	

学 部	小学部	学 年	第 6 学年	
教科等名	体育(25分体育)	グループ名	第 6 学年	
ねらい	<p>(1) 基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けるとともに、健康や身体の変化について知り、健康な生活ができるようになる。</p> <p>(2) 基本的な運動の楽しみ方や健康な生活の仕方について工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとするとともに自分から健康に必要な事柄をしようとする態度を養う。</p>			
担当教員	○谷口学人 村山亜美 森谷芳穂 港月乃 野中裕樹 国吉美友紀 荒井理佳 柴垣卓正 西野弘純			
年間授業時数	21 単位時間			
使用教科書	「かこさとしからだの本 2 たべもののたび」童心社			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	体育発表会 をしよう	2	<input type="checkbox"/> 集団行動「集合」「整列」等 <input checked="" type="checkbox"/> 全体の指示や、笛の合図で集団行動がとれる。 <input type="checkbox"/> 徒競走「歩く・走る」 <input checked="" type="checkbox"/> 競走意識をもってゴールまで走ることができる。 <input type="checkbox"/> 大玉転がし <input checked="" type="checkbox"/> 友達と協力して大玉を転がすことができる。 <input type="checkbox"/> 身体表現 <input checked="" type="checkbox"/> 動きを覚え、身体を大きく使って表現する。 <input type="checkbox"/> 笛のリズムや音量、長さを工夫して動きやすいようにする。 <input type="checkbox"/> ゴールテープ等で視覚的にゴールが分かるようにする。	
6 7	自分の身体 のを知ろう	2	<input type="checkbox"/> スポーツテスト <input checked="" type="checkbox"/> 自分の体力や運動能力を伸ばすことに興味をもって取り組むことができる。 <input type="checkbox"/> 測定された数値を大きく見やすく示し、意識を高める。	
9	体の変化を 知ろう(保健)	5	<input type="checkbox"/> 身体の変化を知る <input type="checkbox"/> 病気・感染症について <input checked="" type="checkbox"/> 身体部位の名称を知り、自分の身体の変化や体調の不調(発熱、咳など)を意識することができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 身体部位の名称を知り、男女の違いや距離の取り方を知り、意識することができる。 <input type="checkbox"/> スライドや映像資料を用意する。 <input type="checkbox"/> 視覚的に分かる内容を用意する。	
10 11 12	器械・器具 を使って体 を動かそう	6	<input type="checkbox"/> 固定施設を使った基本的な運動(平均台) <input checked="" type="checkbox"/> 平均台などで、後ろ歩きや片足立ちができる。 <input type="checkbox"/> 器具を使った基本的な運動(マット⇒連続横転・前転など)(鉄棒⇒ぶら下がり・前回り下りなど)(跳び箱⇒跳び乗り・跳び下りなど) <input checked="" type="checkbox"/> 発展的な回転(後ろ転がり、連続前転など)ができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 支持した状態から体を前後に振ったり、前回り降りをしたりすることができる。	

			<p>◆ロイター板を両足で踏み切って、跳び乗りや跳び越しができる。</p> <p>□手や足を着く位置に印を付ける。</p> <p>□タブレット端末等を使用し、体の動きを視覚的に示す。</p>	
1 2 3	ボール運動	6	<p>○投げる・転がす・捕る・蹴る運動</p> <p>○キックベース</p> <p>◆友達同士でキャッチボールができる。</p> <p>◆教員や友達に向かってパスをしたり、教員や友達からのパスを受けたりすることができる。</p> <p>◆転がってきたボールを蹴ったり、捕ったり、止めたりすることができる。</p> <p>◆得点を狙い、ボールを蹴ったり投げたりすることができる。</p> <p>□柔らかく捕りやすいボールを使用する。</p> <p>□立つ位置をまるマットで分かり易く示す。</p> <p>□蹴る前にボールが転がらないように固定する。</p> <p>□チームごとに色分けしたゼッケンを着用し、チームの友達を意識できるようにする。</p>	

学 部	小学部	学 年	第6学年	
教科等名	自立活動	グループ名	重度・重複学級	
ねらい	(1) 障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服する。 (2) 必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。			
担当教員	○西野弘純 柴垣卓正			
年間授業時数	70 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
通 年	あいさつ なまえよび  からだ  仲良く歩 こう  手先を使う 運動	70	<p>○挨拶と名前呼び（人間関係の形成）</p> <p>◆授業の始まりと終わりに、言葉掛けに応じて挨拶することができる。</p> <p>◆呼名に対して、発声や挙手で応じることができる。</p> <p>○いろいろな身体の使い方 ＜道具を使った動き、ストレッチ、リラックス＞ （健康の保持、身体の動き、心理的な安定）</p> <p>◆島渡り、階段昇降、ボール運動、平均台、トランポリン、三輪車等の動きに慣れ、自分から活動に取り組むことができる。</p> <p>◆教員と一緒にストレッチの動作を行い、身体が伸びて気持ち良い感覚を感じることができる。</p> <p>◆体幹を強化する運動を行うことができる。</p> <p>□実態に応じて使用器具を変え、意欲を引き出す。</p> <p>○グラウンド歩行 （人間関係の形成、環境の把握、身体の動き、コミュニケーション）</p> <p>◆歩く順番を意識する。</p> <p>◆友達や教員の動きを意識し、集団で行動する。</p> <p>◆身体への働きかけを受けとめ、力を緩めたり、リラックスしたりする。</p> <p>□順番や集団を意識できるようにロープなどを持たせて歩かせる。</p> <p>□並び順を変えることで、いろいろなペースに合わせられるようにする。</p> <p>○微細運動＜手袋、靴・靴下、ボタン、ひも、チャック、はさみなど＞ （身体の動き）</p> <p>◆指先を使った細かな動きに慣れ、自分から活動に取り組むことができる。</p> <p>◆生活に必要なスキルを習得する。</p> <p>◆目と手の協応性の向上を図る。</p> <p>□実態に応じた教材を提示する。</p>	

	<p>ゲームをし よう</p>	<p> <input type="checkbox"/>集中できる環境を設定する。  <input type="checkbox"/>やるべきことが視覚的に理解できる教材を使用する。   ○ゲーム活動&lt;バスごっこ、ボール送りなど&gt;  (環境の把握、コミュニケーション、人間関係の形成)  ◆簡単なルールを理解し、教員や友達と一緒に活動を楽しむことができる。  ◆順番を意識できる。  ◆やりたい気持ちを表現できる。  <input type="checkbox"/>活動の始めと終わりが明確になるように合図や道具を工夫する。 </p>	
--	---------------------	---	--

学 部	小学部	学 年	第6学年	
教科等名	日常生活の指導	グループ名	重度・重複学級	
ねらい	(1) 日常生活に必要な身辺処理の中で、自分でできる部分を増やす。 (2) 生活に必要な基礎的能力を高める。			
担当教員	○西野弘純 柴垣卓正			
年間授業時数	434 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4	新しい環境に慣れよう	84	○新しい教室やトイレの場所、教員の認知 ○新しい環境での落ち着いた生活 ○ヘルプマーク・ヘルプカードの理解 ◆新しい学級集団や教室の場所を認識し、集団または一人で行動できるようになる。 □児童の実態に応じて、シンボルや色テープ、個別のスケジュール等のカードの活用をする。	
5	できることを増やそう ① ～朝の会、帰りの会、係りの仕事等～		○係仕事 ○荷物の準備 ◆決まった場面に応じた行動ができ、自分で行うことが分かる。 ◆自分の係活動の内容を覚えて、役割を果たす。 ◆身辺整理ができるようになる。 □学級内での役割をもち生活できるようにする。	
6 7	自分のことは自分でしよう① ～給食前の身支度、歯磨き、片付け等～	72	○給食の準備（机の移動、手洗い、エプロンなどの装着） ○使った食器の片付け ○食後の歯みがき ◆活動の流れに沿って、自主的に取り組める。 ◆自分でできることを増やす。 □自発的な活動が進められるように、言葉掛けや写真、絵カードを提示する。	
9	自分のことは自分でしよう② ～衣服の着脱、荷物の整理～	40	○着替え ○朝や帰り、給食の準備の時などの荷物整理 ◆マークやボタンを手掛かりに着替えたり、表脱ぎを覚えたり、裏になった衣服を表に直したり、各自に合わせた着脱を行う。 ◆脱いだ服の処理や服の前後を意識できる。 ◆自分の荷物を所定の場所に置くことができる □自発的な活動が進められるように、言葉掛けや写真、絵カードを活用した手順書等を提示する	
10 11	できることを増やそう② ～給食の配膳、歯磨き～	128	○ワゴンの運搬 ○給食の準備 ○食後の歯みがき ◆自分でできることを増やし、任された仕事に取り組むことができる。 ◆手順書や見本を見て、正しく歯ブラシを動かすことができる	

12	身の回りを きれいにし よう ～机拭き、掃 除～		<input type="checkbox"/> 自発的な活動が進められるように、言葉掛けや写真、絵カードを提示する。  <input type="checkbox"/> 給食前後に自分の机拭き <input type="checkbox"/> 教室掃除（ごみ拾い、ごみ捨て、床掃除など） <input checked="" type="checkbox"/> 教員と一緒に汚れを意識して床や机を拭くことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 毎日掃除に取り組む習慣を身に付ける。 <input type="checkbox"/> 係活動にして毎日取り組む習慣が身に付くようにする。
1 2 3	きまりを守 って生活し よう	110	<input type="checkbox"/> ルールにならった集団活動 <input type="checkbox"/> 友達との協力活動 <input type="checkbox"/> 「ありがとう」や「どうぞ」のやりとり <input checked="" type="checkbox"/> 集団活動に必要な決まりやマナーを身に付ける。 <input checked="" type="checkbox"/> 挨拶やお礼を覚えて伝えられるようになる。 <input type="checkbox"/> 集団を意識して生活できるようにする。 <input type="checkbox"/> 児童それぞれの方法で伝えられるように支援する。
通 年	登校後（荷物整理、着替え、 係活動、課題、朝の会） 給食前後（準備、食事、片 付け、教室整備） 下校前（着替え、荷物整理、 係活動、帰りの会）		<p>含まれる各教科の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活 基本的な生活習慣、日課・予定、人との関わり、役割、手伝い・仕事、きまり、生命・自然</li> <li>・国語 聞く・話す（名前呼び）</li> <li>・算数 数量（人数、出席調べ）、実務（暦）</li> <li>・道徳科 節度・節制（予定の把握・身辺自立） 礼儀・感謝（挨拶、お礼） 規則の尊重（ルールを守ろうとする）</li> </ul>

※自立活動の内容を合わせる場合は、児童の実態に応じた区分・項目を取り扱う



学 部	小学部	学 年	第6学年	
教科等名	生活単元学習（学年）	グループ名	重度・重複学級	
ねらい	(1)生活に必要な経験を重ねていく中で、基礎的な知識や技能を身に付ける。 (2)教員や友達と協力して活動する楽しさを味わう。 (3)体験的な学習を通して、自然や社会との関わりや公共のルールを知る。 (4)単元の中で、複数の活動を経験し、活用できることを増やす。（プログラミング学習）			
担当教員	○柴垣卓正 西野弘純			
年間授業時数	105 単位時間			
使用教科書	なし			
月	単元名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4	メダルをもらおう	7	○図書室や学校周辺の施設、店、公共交通機関等の利用 ○楽しかったことやどんなことをしたか等の活動の振り返り ◆施設の使い方や横断歩道の渡り方、公共交通機関の利用する基本的なルールを知る。 ◆個々の表現方法で発表できる。 □授業の始めに交通マナーや公共交通機関の使い方を確認し、意識できるようにする。	
5	傘をさそう	5	○傘をさして歩く練習 ◆傘を開閉の仕方を学び、傘をさして歩くことができる。 ○雨天での傘さし歩行 ◆雨の日に1列に並んで校庭を歩くことができる。 □イラストや画像を活用し、開閉時の手で持つ位置が分かるようにする。頭を覆うように持つなどのポイントを明確にする。	
6	学習用タブレットを使ってみよう	3	○校外学習や移動教室に向けての調べ学習 ◆タブレット端末の使い方を知る。 □1人1台タブレット端末を用意する。	
	移動教室を成功させよう	10	○スケジュールの把握 ○公共施設でのマナーや利用方法 ○身辺処理（荷物整理や入浴等）及び係活動 ◆スケジュールをおおまかに理解して自主的に活動することができる。 ◆交通ルール、公共施設などのルールやマナーを守り、利用することができる。 ◆荷物整理や入浴など身辺処理はなるべく自分で行うことができる。	
7	掃除をしよう	10	□宿泊に必要な活動（歩行、入浴、荷物整理など）を行う。 ○教室や廊下の清掃活動 ◆手順書を手がかりに見通しをもって活動することができる。 ◆教員や友達と協力して、机運びや雑巾がけができる。	
	50周年を祝おう	2	□写真を活用して、手順表や順番表を提示する。 ○50周年キャラクターの塗り絵など ◆創立50周年の意味を知り、祝う気持ちをもつ。 ◆イメージキャラクターに親しみをもつことができる。 □イメージキャラクターの誕生日を祝う視覚教材を提示するこ	

			とで、50周年へのイメージがもてるようにする。
9	英語を楽しもう	6	○英語による音楽やゲーム ◆友達やALTと一緒に活動することができる。 ◆外国のことを学びながら、友達と英語に親しむことができる。 □写真や絵カードを提示し、イメージがもてるようにする。
	パーティーをしよう(調理)	8	○材料の購入、パフェの調理 ○調理学習における準備や片付け ◆手順書を手がかりに見通しをもって調理することができる。 ◆教員や友達と協力して、準備や片付けに参加ができる。 □調理器具や材料・作り方の手順を歌や写真を活用して提示する。
10	修学旅行を成功させよう	5	○スケジュールの把握 ○公共施設のマナーや利用方法 ◆スケジュールを理解し自主的に活動することができる。 ◆交通ルール、公共施設などのルールやマナーを守り利用することができる。 □写真やイラストを活用しスケジュールやルール等を視覚的に分かりやすく示す。
	50周年を祝おう	2	○50周年キャラクターの塗り絵やお祝いの手紙を書く ◆創立50周年の意味を知り、祝う気持ちをもつ。 ◆イメージキャラクターに親しみをもつことができる。
	羽ばたき祭をしよう	17	□イメージキャラクターの誕生日を祝う視覚教材を提示することで、50周年へのイメージがもてるようにする
11			○発表内容の計画や、係分担の選択
12			○羽ばたき祭での買い物学習 ○役割の演技、ダンス、演奏、タブレットを使った鑑賞 ◆見通しをもち、教員や友達と協力して活動する楽しさを味わうことができる。 ◆品物を選ぶ、お金を出す等の手順をイラストで分かりやすく示す。 ◆友達と関わりながら発表できる。 □発表内容を分かりやすく示し、個々の希望をできる限り取り込む。
1	公共施設を利用しよう	12	○公園や駅などの公共機関の利用、券売機での切符の購入練習(ICカードの利用方法)、乗車、下車の方法について ◆公共機関の利用の方法を知る。 □手順やルールを視覚化して示したり、券売機のプレを作り練習したりする。
2	卒業式を成功させよう	18	○卒業式の流れの把握、証書授与の練習や歌などの練習 ○卒業アルバムの制作 ◆卒業式の流れを知り、見通しをもって活動することができる。 ◆小学部での学習等を写真で振り返ることができる。 □写真やイラスト等、視覚支援し、イメージをもちやすくする。 □立ち位置にマットを置くなどして、出来る限り一人で証書授与ができるようにする。

※自立活動の内容を合わせる場合は、児童(生徒)の実態に応じた区分・項目を取り扱う

学 部	小学部	学 年	第6学年	
教科等名	生活単元学習	グループ名	重度・重複学級	
ねらい	<p>(1)体験や活動の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ等に気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができるようになる。</p> <p>(3)自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。</p>			
担当教員	○柴垣卓正 西野弘純			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	「くもんのせいかつ図鑑 生活道具カード」くもん出版 「やさしいからだのえほん① からだのなかはどうなっているの？」金の星社			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	季節の変化を知ろう①	3	○春の花調べ、昆虫調べ ◆身近な生命や自然の特徴や変化を知る。四季の変化について理解し、それらを表現しようとする。 □タブレット端末や写真を利用する。	
	植物を育てよう①	3	○植物の栽培 ◆植物の成長が分かる。 □1学期内に収穫できる野菜にする。	
6	公共施設の利用をしよう	4	○公園や宿泊施設などの公共施設の利用 ○働く人や仕事調べ ◆公共施設やそこで働く人について知る。 □動画や写真を活用する。移動教室で実際に利用する。	
7 9	季節の変化を知ろう②	3	○夏の昆虫調べ、天気調べ、稲の生長 ◆身近な生命や自然の特徴や変化を知る。植物の生長について理解し、それらを表現しようとする。 □タブレット端末や写真を利用する。	
	植物を育てよう②	4	○水遊び ◆水遊びなどの夏らしい遊びを行うことができる。 □水鉄砲程度の遊びを行う。 ○植物の栽培 ◆植物の成長が分かる。 □2学期内に収穫できる野菜にする。	
10 11	学校で働く人を知ろう	8	○学校で働く人調べ ◆学校で働く人（校長、副校長、養護教諭、主事）の職業名や役割りを知る。 □直接話したり、実際の仕事を動画で撮影したりする。	

12 1	動くおもちゃを作ろう	5	<p>○風やゴムの力で動くおもちゃを作り</p> <p>◆自然やものの仕組みに興味をもち体験してみる。</p> <p>□興味関心を引くようなおもちゃを選び、実際に体験することで意欲を高める。</p>	
2 3	中学生になろう	5	<p>○中学部の学校生活調べ</p> <p>◆中学部の教室、授業内容、学校行事などについて知る。</p> <p>□直接話したり、実際の生活の様子を動画で撮影したりする。</p>	